



大学生向けインターンシップ



埼玉地方協力本部（本部長 高田一空佐）は、令和4年8月29日（月）から9月2日（金）の間で、「5日間インターンシップ」及び令和4年9月8日（木）に「1日インターンシップ」を実施した。

本インターンシップは、大学3年生を主対象とし、部隊研修、各種訓練及び業務体験を実施し、自衛隊に対する興味を誘引して志願者獲得を図るという目的で埼玉地本での初の試みとして計画・実施した。

共通内容として、自衛隊の概要説明、基本教練体験、基地内の厚生センターや浴場等の駐屯施設案内、部隊研修、防衛講話を行った。5日間インターンシップでは、工業系の大学生がメインだったため、陸・海・空各自衛隊の整備工場研修を取り入れ、各種工具の使用要領やエンジンのシミュレーション操作などを体験した。

学生たちの所見として当初、自衛隊は、「閉鎖的、厳しい、硬い、笑わない」という印象だったが、本インターンシップを通じ、隊員の職場環境や基地内の生活環境を直接「見て・触れて・感じて」もらい、終わるころには当初のイメージを払拭し、自衛隊に対する印象が変わったという声を頂いた。インターンシップを通じて、自衛隊に対する理解を深めるとともに、将来の職業選択の参考としてもらうことができた。

埼玉地本は、インターンシップ参加者に対するフォローアップを継続的に実施していくとともに、「自衛隊を職業に」という意識を早くから持つってもらうため、引き続きインターンシップに注力し、自衛隊に対する理解促進と募集活動に尽力していく。

